当面する諸案件を報告
大網白里市議会第2回定例会　市長事務報告

6月9日から29日まで、市議会第2回定例会が開催されました。開会日には市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページ等をご覧ください。

財政

平成26年度の会計は、現在、決算を調製中ですが、決算規模は普通会計歳出ベースで140億円程度、実質収支は4億円程度と見込んでいます。

主な内容は、まず歳入では、市税が前年度より微増となり、予算を確保できる見通しです。また、寄附金については、前年度の230万円から、1，548万円と大幅な増加となりました。

一方、歳出ですが、臨時給付金や介護関係費などの民生費が増額するほか、土地区画整理事業や金谷川河川改修事業などの事業費の増加に伴い、土木費が増額する見込みです。

次に、平成27年度の予算執行は、保健福祉の充実、都市基盤の整備、安全安心の確保をはじめとする8項目の主要事業を中心として、着実に執行できるよう、国・県の政策動向にも注意しながら、円滑な財政運営に努めます。

また、歳入の確保ですが、基幹財源であります市税の収納率の一層の向上に努めるとともに、国・県等の補助金を積極的に活用します。また、ふるさと応援寄附金は、インターネット申し込みや電子決済納入方式の導入により寄附者の利便性の向上や、寄附お礼品の拡充を図り、さらなる増収に努めます。

後期基本計画の策定等

第5次総合計画の前期基本計画が平成27年度で終了することに伴い、後期基本計画の策定に向けて、本年3月13日から31日までの間に市民3，000人を対象としたアンケートを実施し、現在は分析を行っています。

また、昨年11月に発足した人口減少対策および後期基本計画策定に向けた若手・子育て世代職員によるプロジェクトチームでは、本市の将来を見据えた施策の検討を行っており、本年7月の最終報告に向け作業を進めています。

今後は、タウンミーティングの開催や関係団体への意向調査を実施するとともに、一般公募による市民の方々や有識者等で構成する市総合計画審議会を設置し、後期基本計画およびまち・ひと・しごと創生に向けた大網白里市版総合戦略の策定を進めます。

防災

津波対策は、これまで災害対策庁内検討会議を設置し、千葉県の策定指針に基づき、避難対象地域の避難方法や避難経路の選定等の検討を行ってきました。このたび津波避難計画案がまとまり、今後は、本議会における議論や地元の方々からの意見を踏まえ、計画の策定に向け取り組みます。

また、津波避難施設整備計画は、設置箇所、規模等を含めた海岸地域全体の整備計画の素案を取りまとめているところであり、今後、地元の方々のご意見等を伺いながら早期の施設整備に向け取り組みます。

国勢調査の実施

国勢調査は国が実施する最も重要な統計調査として位置づけられ、本年10月1日を基準日として20回目の調査が実施されます。

近年、単身世帯や共働き世帯の増加、プライバシー意識の高まりなど、国勢調査を取り巻く環境は大変厳しいものです。本市では、国勢調査を円滑に実施するため、本年5月1日に平成27年国勢調査大網白里市実施本部を設置しました。

児童福祉

子育て世帯の経済的負担を減らし、地域における消費喚起につなげるため、市内に在住の中学3年生までを対象に「子育て世帯すくすく応援クーポン」を配付します。

また、保育関連施設の状況ですが、本年4月に「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、市内では従来の認可外保育施設のうち3施設が地域型保育事業に移行し、0歳から2歳までの小規模保育や家庭的保育を行う市の認可保育施設となりました。

さらに、「子育て支援センター」を既存の2ヵ所に加え新たに瑞穂地区と、白里地区にもオープンし、保育所や幼稚園就園前のお子さんとその保護者が気軽に利用できる交流の場として、サービスの拡充を図りました。

▲子育て支援センター（すくすくクラブ）で交流する親子

社会福祉

平成26年度に引き続き、所得の低い方や子育て世帯の負担を減らすため、「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特例給付金」が支給されることとなり、補正予算に所要額を計上しました。予算の成立後は、対象者に対し、申請、請求手続きが円滑に進むよう、広報紙やホームページ等を通じて周知を図ります。

工事の進捗状況

JR大網駅前トイレは、JRとの協議が終了し、5月下旬から工事を開始しています。

今後は、既存建物の解体工事等を行い、8月下旬の完成に向け、作業を進めます。

また、工事期間中は、駅前通路が一部狭くなるほか、工事車両の往来などにより大網駅を利用する方には大変ご不便をお掛けしますが、安全第一で工事を進めます。

商工観光

プレミアム商品券ですが、昨年度より発行額を大幅に増やし、約2億5，000万円分を発行します。

プレミア率は20％で、1セット5，000円で販売します。販売にあたっては、より多くの市民が購入できるよう優先販売券を市内の全世帯に送付のうえ、7月3日から6日までの4日間、市民を対象に優先的に販売を開始する予定です。

また、観光振興につきましては、2015ミスインターナショナル・ジャパンのグランプリに輝いた、市内在住の中川愛理沙さんに観光大使を委嘱し、本市の魅力を市内外に発信していただくこととしました。

また、これから夏季観光シーズンを迎えるにあたり、7月1日の海開き式に向け白里中央海水浴場の開設準備を進めていきます。なお、恒例となりました「浜まつり」は8月8日の開催が決定し、実行委員会において、さまざまなイベントを企画しているところです。

▲市観光大使に就任した中川愛理沙さん

本年度は、これらの行事を含め観光大使を積極的に起用し、これまで以上にPR活動を行い、観光客の誘致に努めます。

男女共同参画

女性と男性とが対等な立場、パートナーとしてあらゆる分野へ参画し、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、本年4月に市民、関係団体、学識経験者からなる市男女共同参画審議会を設置しました。5月13日には1回目の審議会が開催され、大網白里市男女共同参画計画の策定について諮問しました。

今後は、市民意識調査を実施し、男女共同にかかわる現状、課題等を把握しながら、さらに議論を重ね、計画の策定を進めます。

住民参加のまちづくり

事業実施3年目を迎えた住民協働事業は、本年度実施事業として採択された6団体の事業がそれぞれの地域課題の解決に向け、4月よりスタートしました。

市では、採択団体間の連携や意見交換、専門的知識を有するアドバイザーからの助言、情報提供等を行うことを目的に支援会議を実施し、効果的な事業の実施を促進します。

また、市民の方と行政とが課題を共有すること、市民・職員の学習機会の充実を図ることを目的とした出前講座は、本年度は6月から27のメニューにより実施しています。

都市整備

両総用水の上部利用として整備を進めている緑道は、大網駅を利用する市民の方々が、安全に安心して通行できる交通機能に加え、駅前空間にふさわしい良好な景観の形成や、市民の憩いの場の提供を目的として、花木の植栽やベンチの設置を計画しています。

この緑道は、平成25年度から27年度にかけ段階的に整備し、順次供用を開始することとしていますが、昨年度末に県道千葉・大網線から市道1-0128号線までの整備が完了したことから、本年4月から一般に開放しました。

本年度は、残る一部区間の整備を進める予定で、引き続き、大網駅周辺の都市基盤の向上を図ります。

下水道

下水道の根幹的施設である汚水管渠（おすいかんきょ）および終末処理施設は、供用開始から年数が経過し、各施設に傷みが発生していることから、維持管理面での施設整備を進めています。

汚水管渠は、季美の森やみどりが丘から汚水を圧送している主要な管渠が腐食により部分的に劣化していることから、本年度、入れ替えや更生などの工事を実施し、汚水管渠の健全化を図る予定です。

また、終末処理施設は、平成24年度から国の社会資本整備総合交付金を導入し、浄化センター改築更新工事を実施していますが、本年度は事業最終年度のため、完成に向けて着実に工事を進めます。

後期基本計画策定に伴う タウンミーティングを開催します

市では、市の最上位計画に位置づけられる「大網白里市第5次総合計画」の後期基本計画の策定に向けた調査研究を進めています。

この後期基本計画の策定にあたり、市政に対する市民の皆さんのご意見等を伺いたく、タウンミーティングを開催します。

本市をより良いまちとするために、ぜひ、ご意見をお聞かせください。

◇日時・会場

日　時	会　場
7月18日㈯10時～12時	中央公民館講堂
7月22日㈬19時～21時	大網白里アリーナ研修室
7月23日㈭19時～21時	農村環境改善センターいずみの里

※ 事前申し込みは必要ありません

問企画政策課政策推進班　☎(70)0315